

余市エコカレッジは

「持続可能な暮らしと地域」を

実現するための学び合いと

それを仕事や仕組みとして試行実践する場です。

現場の素材から資源を見つけたり

地域課題を解決しながら

主体的に

「気づく力」「考える力」「協働する力」

を身につけます。



「持続可能な暮らしと地域づくり」 を目指します

1

環境負荷の少ない
食料生産や住まいに必要な適正技術を学び、
地域における実践者を育てます。

2

ひとりひとりの個性が発揮されるとともに、
組織やコミュニティの中で
互いの多様性を尊重しながら協調するための
コミュニケーションやグループワークを学びます。

3

貧困や環境破壊を産むグローバル経済に対して、
地域で分かち合うための「しごと」や
「仕組み」を提案し、実践の基盤を創ります。

1 一般向け講座（通年／単発／合宿型）

「持続可能な暮らしと地域づくり」に必要なスキルや考え方を座学と実習で学び、家庭や地域での実践力を身につけます。

通年プログラム

定員15人、年8回(4～11月)土日(1泊2日)開催
寝食を共にしながらのチームラーニングが特徴です

作物栽培、養鶏、養蜂、醸造、建築、再生エネルギー、造園(エディブルガーデン)、バイオトイレなどの適正技術を学ぶ実習

地域の自立した経済を支えるための起業や組織づくりなど
社会経済的なエコロジーについて考える座学



2 グループ研修（大学、企業、市民団体向け）

大学・専門学校の実習、授産施設のプログラム、企業研修など、グループを対象にスタディツアーやワークショップ等を企画します。

研修テーマ例

合意形成とファシリテーション、コミュニティビジネス、ソーシャルビジネス、調理加工、木工などものづくり、チームビルディングやコミュニケーション

2014年実績

北海道大学 & 重慶大学合同研修(中国)、酪農学園大学 & JICA 研修(マレーシア)、就業起業塾 in Hokkaido(北海道)

※ご希望や条件に応じた内容を提案します。

3 持続可能な暮らしや住まいの実践研究

行政や企業、市民団体、研究機関などと連携し、持続可能な社会を支える仕組みや技術を試行実験し、実践に結びつけます。

地域資源や課題をそれぞれの研究や学びに活かしながら、その成果を広く社会に還元します

研究テーマ例

エコロジカルな建築技術や資材、環境共生型污水处理と資源の再利用、再生エネルギー、持続可能な地域デザイン、環境保全型農業、地域CSA(Community Supported Agriculture)



4 持続可能な地域づくりの取り組み ～都市と農村のつながりを創る活動～

地元余市・仁木の生産者や市民団体らと連携協働し、地域住民が地域を再発見するとともに、都市から訪れる人びととの交流を通して持続可能な地域づくりを進めます。

取り組み例

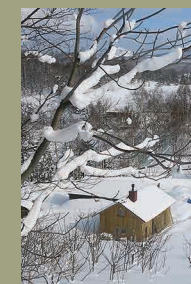
フットパスツアー(2013～)、スイーツコンテスト開催(2013、2014)、仁木駅de Café(2014)、農家カフェ&バー(2015～)、農園スタディツアー(2013～)

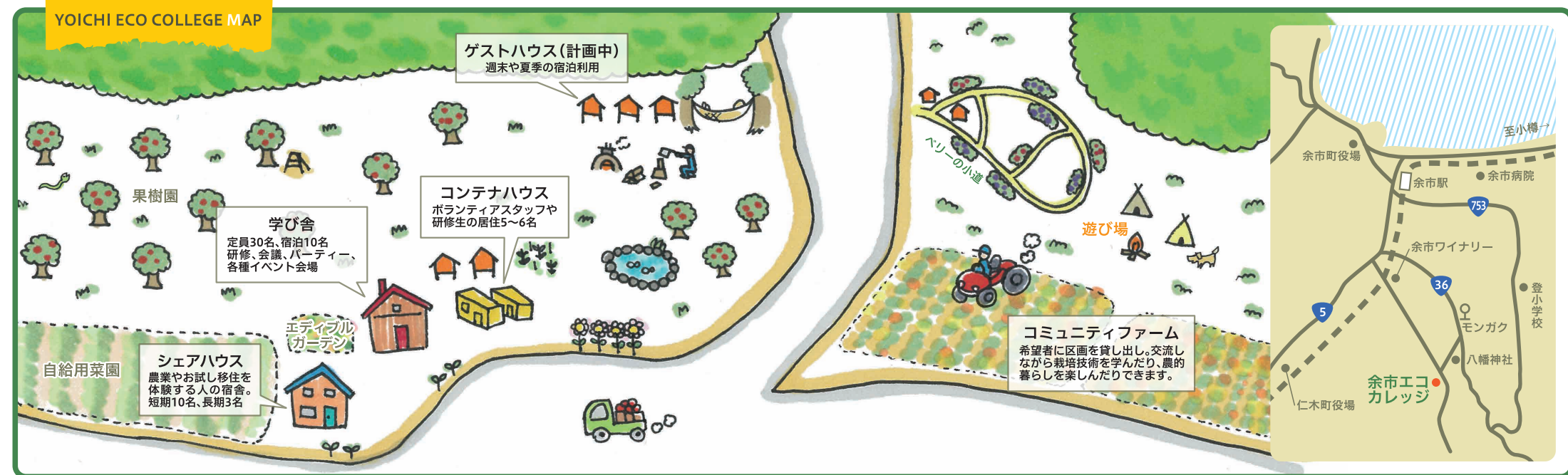


講師

地元余市・仁木の生産者を中心に、建築、エネルギー、地域計画、エコツーリズムなど多様な分野の専門家を講師にお招きします

山田 貴宏（バイオフォルム環境デザイン室代表）
宮本 英樹（北海道観光まちづくりセンター代表）
岩井 尚人（IEPO代表）
伊藤 規久子（コミュニティレストランネットワーク北海道代表）
深江 園子（ジャーナリスト/スイーツ王国さっぽろアドバイザー）
土谷 美紀（サンガーデン常務理事）





余市エコカレッジ施設概要

所在地	余市郡余市町登町1863 (JR余市駅から車で10分、バスは赤井川線でモンガク下車徒歩3分/札幌から90分/千歳空港から120分)
実習場	余市ハル農園、余市のぼりんファーム、体験農園百姓園、ガンダルフの庭、登醸造、余市テラスほか、余市・仁木町内の農家、加工所、飲食店など
学び舎利用	研修、会議、イベントなどの目的で貸切利用できます。(最大30人) 調理施設一式、トイレ(簡易水洗、パイオトイレ)、シャワー、洗面所、ロフト2室、プロジェクター、スクリーン 午前・午後・夜の部：各5000円 12時間：12000円 / 24時間：18000円 宿泊：定員10人。ロフト利用、寝具貸出し、食事別途(自炊可能)

コミュニティファーム

区画貸しします(100㎡単位)。休憩小屋やトイレ、農具等の利用ができます。
希望者は、栽培技術の指導や作業協力についても相談に応じます。

会員募集

当団体は、みなさまの会費・寄付金で支えられています。地域の生産者とチームを組んで、より一層幅広い活動を展開します。週末だけ畑に通いたい、夏の間遊び行きたい、移住して起業したい、イベントに参加したい、など多様な参加の機会とつながりを広げていきます。仲間になりませんか！

- 正会員 年会費一口 ¥10,000
総会の議決権があり、法人の運営に参加できます。プログラム等の割引あり。
 - サポート会員 年会費一口 ¥5,000
情報誌やメールにて活動報告や各種イベントのご案内をいたします。
- 郵便総合口座(ばるる)
【口座記号番号】19070-38886511
【口座名義】トビカイト'エコビレッジ'スイツブ'プロジェクト
※他銀から振り込む場合 【店名】九〇八支店 【普通口座】3888651
郵便振替口座(ゆうちょに口座のない方はこちらをご利用ください)
【口座記号番号】02700-9-85080
【口座名義】北海道エコビレッジプロジェクト

ボランティア募集
定期的、継続的に来られるボランティアを募集しています！

ごあいさつ

ヨーロッパのエコビレッジに出会って私が何よりも感銘を受けたのは、暮らしに主体的に関わり、住民同士が助け合うコミュニティには、すべての人に役割があり、感謝し、感謝されるチャンスがあることでした。そしてそのような暮らしの場が開放された結果、多様な出会いや交流の機会が生まれ、同時に環境負荷の少ない暮らし方を広く社会にデモンストレーションしていることでした。

世界のエコビレッジは大小様々、仕組みも千差万別です。なぜならそれはそれぞれの地域資源を活かし、住まい手、担い手が自らつくり出すものだからです。「こうすればできる」というマニュアルや「こうしな

くてはいけない」というルールはありません。価値観や立場の違いを尊重しながら大きなゴールを目指す、そのプロセスこそがこれまでの伝統社会や会社組織にはない、新しい社会のあり方を示しています。

私は、エコビレッジの考え方やデザインが、北海道の地方再生のヒントになると考えました。農村環境やコミュニティの暮らしを教材とした学びの機会と、外部との交流や学びの力を地域づくりに活かしていく実践の場、エコカレッジはそれを両輪としています。

「消費するだけの生活」に疑問を持っているあなた。少しでも自らの手や頭を動かし、自然や仲間と分かち合いながら、感

謝する暮らしにシフトしたいと思っているあなた。いきなりサラリーマンをやめたり、田舎に移住したりしなくても、今いるところからスタートしましょう。

一人ではできない。全部はできない。途中でめげるかもしれない…でも、みんなで創意工夫して分担したり力を合わせたりすれば、もしかしたら実現するかも…それがコミュニティの力。「持続可能な暮らしと地域」への第一歩なのです。



NPO法人
北海道エコビレッジ
推進プロジェクト
理事長 坂本純子



余市エコカレッジ

特定非営利法人 北海道エコビレッジ推進プロジェクト

余市エコカレッジ

余市郡余市町登町1863

TEL/FAX 0135-22-6666

MAIL y.ecocollege@gmail.com

WEB <http://ecovillage.greenwebs.net/>

事業主体

特定非営利活動法人北海道エコビレッジ推進プロジェクト

理事長 坂本純科

設立 2009年2月設立(2012年1月法人化)

札幌事務所

札幌市中央区宮ヶ丘2丁目1-1-303

TEL 011-640-8411 / FAX 011-640-8422

制作・発行 / 特定非営利法人北海道エコビレッジ推進プロジェクト

デザイン / colonbs

